

巻頭のことば 「春を目前にして雑感・・・」

‘異常気象’という言葉は酷暑に対してだけ用いられるものと思っていましたが、3月後半に差し掛かるのに、朝方の温度は都心部で2～3度以下、つまり2月上旬並みの寒さです。これはもう立派な異常気象です。‘地球温暖化’は科学者よりもむしろアメリカの政治家が声高に唱え、世界の産業の仕組みをも変えようとしています、目の前の現象から考えると実態は逆に氷河期に突入しようとしているのではないかとも思える位です。いずれにせよ、事の真偽は科学者ではなくこの宇宙を司る神にしか判らないでしょう。

3.11ですが、これについては今はもうあまり語りたくありません。テレビでは津波の映像を繰り返して見せられています。映像を通じてあの災害がどんなものだったのかをわかったような気になっていますが、所詮は勝手な思い込みであって、被災した方の気持ちなどひとかけらも理解している訳ではないのだと私自身は思います。被災地に於いてすら道一つ隔てただけで悲劇に遭った人とそうでない人がおられ、体験していることも気持ちも違います。その冷厳な事実と、自分のシンパシー（共感）と想像性の限界を認識したら、過去ばかりを見つめているよりも、将来像の実現へ邁進した方が建設的ではないか、と思えてきます。人間は現在に生き、そして未来にしか行けないのです。過去の体験は共有できなくても、将来像は共有可能であり、そして共に実現することが可能です。

さて、「道の駅エコステーション化計画研究会」は、早くから趣旨にご賛同いただいた道の駅の皆様と共に発足いたしました。長きに亘りドライバーの休憩所として利用されてきた道の駅ですが、その数は1,000に迫ります。道の駅には、災害時対応拠点、自立型エネルギー生産・消費拠点とするにふさわしい条件が揃っており、そのことに政府も気づき始めています。

足掛け8年に亘り道の駅に秘められた価値を掘り起こして来た我々としては、道の駅や企業の皆様と連携して、「道の駅のエコステーション化」をさらに大きな流れにしていくためにこの研究会を立ち上げました。是非、ご参加をお願いします。

ふすく なおき

未知倶楽部 賦勺 尚樹

目次

巻頭のことば p02	春を目前にして雑感・・・
トピックス p03	道の駅エコステ研究会が発足！
特集レポート p06	EV充電ステーション
お知らせ p12	新規掲載の道の駅、等